

会議の名称	第7回 合志市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議	
開催日時	平成30年6月26日(火) 午前10時	
開催場所	合志市役所合志庁舎 2階庁議室	
議 題	平成29年度事業の実績報告と平成30年度事業に関する意見交換	
会議の公開・ 非公開の別	公開 ・ 非公開 ・ 一部非公開 〔傍聴者なし〕	(一部) 非公開の場合、その理由
出席者	委員	山辺一範、上田耕太郎、今村芳仁、三城大介、飯村秀敏、高野剛一、黒木重光、池永けい子、坂本夏実
	行政	大茂竜二、坂井竹志、原田和彦、渡辺良輔、齋藤一広、坂井晴代、栗木清智、太田徹、石田祐介、大隅理央、九重浩光、村田昭藏
欠席委員	平田政臣	
議事内容	①賑わいある街並み創造推進事業	
	《委員の意見等(要旨)》 なし	
	②女性の「ワーク・ライフ・デザイン」サポート事業	
	《委員の意見等(要旨)》	
	委員	就労場所は合志市内か。その業種は。
	女性・子ども支援課	合志市内である。こうし未来研究所や法人(酪農関係)など他業種にわたる。
	委員	都市化すると虐待事例が多くなる傾向がある。早期のキャッチアップが必要となり、育成したサポーターには地域のキャッチアップパーとなってほしい。 欧米では実母が虐待するきっかけとなる交際相手へ「ステップファザーズスクール」を行っている。日本ではまだ取り組みが遅れている加害者支援という視点もこれから必要となる。
	委員	虐待を未然に防ぐために地域の目があることの周知に力を入れてほしい。
	委員	サポーター養成講座を受講する人はこの問題に関心がある人である。関心がない人にどう伝えていくのかもサポーターの活動の一つと考える。 虐待被害に遭う子どもたちと接する保育士などへの啓発・教育の場はあるのか。
	女性・子ども支援課	学校とは毎月連絡会議を開き連携を強化している。また保育園などにも何か気づきがあれば、虐待相談の最初の窓口となる当課へ連絡するよう要保護児童対策及びDV防止対策等協議会において伝えている。また、一報の際はすぐに現地確認を行い児童相談所と連携し被害が拡大しないよう取り組んでいる。
	委員	保育所に通っていない子どもには目が届かない。このような家庭へのサポーターの関わりはどうなっているのか。
	女性・子ども支援課	泣き声通告が多くなってきており、通告後48時間以内の目視確認を実施している。周囲の目が多くなるようサポーターを数多く養成するとともに周知啓発活動にも力を入れたい。
	委員	子どもは虐待を受けていても嫌われたくない一心で親を庇ってしまう。そういった子どもたちの声が届くよう投書箱などの設置を検討してほしい。
	③健康都市こうし推進事業	
《委員の意見等(要旨)》		
委員	ポイントの原資はどこなのか。また、KPI設定の要因は医療費の増大である。会員のデータを活用して実際に医療費が下がったか検証してみてもどうか。	

健康づくり 推進課	クラッシーノこうしが負担しており還元率は7%である。ポイント利用店舗等が拡大すると原資が不足することが課題となっている。昨年度データでは医療費削減の効果が見られた。プラットフォーム事業により見えてきた課題について、本人同意が得られれば事業者提案を通じたさらなる健康づくりを提案できるようになる。ビックデータについては今から分析を実施する。また、熊本大学薬学部とのビックデータを用いた連携についても現段階ではアイデアとして先方と共有している。
委員	ウエルネスシティこうしの事業が市民に浸透していない。もっと情報発信を行う必要がある。
委員	経産省では知られた取り組みであるので、地元で知られていないのはもったいない。
健康づくり 推進課	広報紙でも積極的に周知を行う。イベントに参加する市民はウエルネスシティこうしについて知っているが、参加しない市民にも周知を図っていきたい。
委員	10月農作業開始となると栽培できるものが限定されてくる。早い時期であれば葉物野菜などの比較的作業として簡単なものに取り組むことができる。また、農家やNPO法人が障がい者を雇用して農業を行う農福連携が注目されている。
④クリエイター創業者育成事業	
《委員の意見等(要旨)》	
委員	取り組みの成果がなかなか見えない。今後どのように成果が見えるようにできるよう考えているのか。
生涯学習課	塾生が制作した映像にクレジットを挿入し活動のPRを図りたい。
委員	以前、キャラクターを制作し各企業に選考してもらった取り組みがあった。塾生の作品が表に出ることはやる気を引き出すことにもつながるので、市外への情報発信も積極的に行ってはどうか。
生涯学習課	商工振興課と連携し企業等連絡協議会や商工会を通じて活動を積極的に周知したい。
委員	「クリエイター」という言葉がわからない高齢者もいる。幅広い世代への情報発信が必要だ。
委員	「作り手」の育成のほかに「営業」への支援が必要である。仕事を取ってくる仕組みを検討してはどうか。
委員	企業のPR映像を制作したりする事業を行っていくのか。
生涯学習課	卒塾生の仕事確保のため映像制作などがメインとなる。受注に向けては事務局が支援していく。
委員	57名の卒塾生がいるが市外の人もいるのか。
生涯学習課	資格要件として市民に限定していないので市外の人もいる。
委員	卒塾生のその後については把握しているか。
生涯学習課	現在調査を検討中である。
委員	起業できる人ばかりではない。地域の企業に就職した卒塾生もいる。そのような卒塾生についても情宣活動に力を入れてほしい。
⑤文化を核とした観光交流拠点整備計画	
《委員の意見等(要旨)》	
委員	他の施設への集客効果を見込んでいると思うが、この資料では見えていない。マンガミュージアムを核としてさまざまな事業への水平展開を期待している。
生涯学習課	熊本電鉄と連携した取り組みを進めている。
委員	先の映像クリエイターが制作したものを電鉄の駅で放映するなど、さまざまな広がりがあると考えられる。

委員	まんがの「聖地巡礼」が観光資源のひとつとなっている。県が検討しているワンピース像のひとつをマンガミュージアムに設置できれば、さらなる集客効果が見込め、周辺施設への波及効果も大きい。
委員	25,000人の属性はわかるか
生涯学習課	詳しい属性は把握していない。平日は地域の子どもたち、土日は市外からのお客さんが多い。来年はマンガ学会が熊本市で開催されるので、これを捉えて情報発信を強化したい。
委員	来館者数は当初見込みよりも1万人多いが、収入は5万円の増に留まってるということは、当初の計画から大きく外れている。今後の方向性を検討するためにも要因分析が大事である。来館者の意見を取り入れながらイベントを企画されたい。また、マンガミュージアムをクリエイター塾と一体として考えればいろいろな取り組みが考えられる。
委員	来館者数の目標達成は早かったが、どれだけリピーターを増やすかが課題である。例えばクラッシーノマルシェと連携したプランを作って何度も来館してもらうような仕組みが必要である。
⑥官民広域連携による女性輝く地域づくり事業	
《委員の意見等(要旨)》	
委員	資料中に「ライティング納品25本」とあるがどういう意味か。
商工振興課	インターネットで流れるニュースを書くなどのライター的な仕事のことである。
委員	収益事業になるのか。
商工振興課	肥後六華の會が仕事を受けて各会員に仕事を回すことで、収益が発生することになる。
⑦自然共生型産業を核とした地域未来投資促進プロジェクト	
《委員の意見等(要旨)》	
委員	プロジェクトにおいて農家が参画する時期はいつごろになるのか。
商工振興課	市は今年度の拠点整備には関与するが、あとは民間主導となる。農家が協議会に直接参画することは難しいと思われるため、市長が理事として入ることで、農家の声が事業に反映される仕組みは構築している。また、JAに協議会への参画について話をし、興味を示してもらっている。